

【様式①】令和4年度 学校評価書(小・中・特別支援)

学校名 岐阜市立長良東小学校

校長名 河井 信幸

| 市の重点課題                             | 学校の重点項目                                                                                                                                                   | 自己評価 | 達成状況                                                                                                                                                                                                         | 学校関係者評価委員会から                                                                                                                                                                           | 改善の方向                                                                                                                                              |
|------------------------------------|-----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|------|--------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| 学校・家庭・地域との協働による指導体制の確立             | ・土曜授業を活用し、学校・家庭・地域が一体となって児童を育てていく活動を充実させる。また、活動がさらに充実するようボランティアを募る。<br>・「いじめを見逃さない日」などの取組について学校から発信するだけでなく、家庭や地域でも話題にしてもらえよう啓発する。                         | A    | ・土曜授業日にはPTAと連携し、「親子清掃」と「読み聞かせ」を2回ずつ実施した。<br>・「いじめを見逃さない日」の取組後に、いじめ対策監通信を保護者に配信した。取組について感想を求めたり、取組内容や通信を公民館に掲示してもらったりするなど、いじめについて家庭や地域とともに考え、啓発していくことができた。                                                    | ・いじめを見逃さない日の取組について地域にも発信されていることは大変よいことである。心が温かくなった。ぜひ、続けてほしい。<br>・コロナが収まってきたら、ぜひ、また、学校と一緒にいろいろな行事を計画していきたい。地域にできることは積極的に協力していきたい。                                                      | ・来年度は、地域から読み聞かせボランティアを募集し、朝読書の時間に読み聞かせを実施できるよう計画している。<br>・コロナの収束に伴い、地域と連携して活動できる機会も増えると思われる。自治会や公民館などと連絡を密に取りながら、地域と連携した行事について積極的に考えていく。           |
| 学習指導要領の趣旨を十分に踏まえた社会に開かれた教育課程の編成と実施 | ・読解力を高めるために、家庭(PTA)と連携して読書の充実を図る。<br>・「君が夢を拓くプロジェクト」を活用し、ふるさとへのよさを学んだり、地域における防災を考えたりする学習を推進する。<br>・「OneNote」や「SKYMENU」などの情報支援ソフトを活用し、考えを出し合い議論する学習の充実を図る。 | A    | ・今年度より、毎日、朝読書を位置付けたこと、PTAによる読み聞かせや家庭での親子読書にも取り組んだことで、本に親しむ児童が増えた。<br>・職員研修を行うことによって、「OneNote」や「SKYMENU」を活用できる教員が増え、タブレット端末を活用して児童が自分の考えをまとめたり、学級の仲間と共有したりする学習が定着してきた。                                        | ・PTAとして、読み聞かせや本の寄贈をしたことが、子どもたちの読解力や表現力の向上につながっているとしたら、大変うれしく思う。家庭でも読書をする姿が増えるよう、協力していきたい。<br>・教科担任制が多く取り入れられており、教師の専門性が生かされている。その成果がアンケートの「楽しくわかりやすい授業…90%」に表れている。タブレット端末を効果的に活用できている。 | ・来年度から導入されるロイロノートを活用し、考えを出し合い議論する学習の充実を図る。そのために、職員研修も計画的に実施していく。<br>・地域人材や地域の特徴を生かした「ぎふ・MIRAI's」の学習ができるようなカリキュラムを考えると、校区の学校と連携を図っていく。              |
| 幼保小連携や小中一貫の考えのもと、地域人材を活用した学校づくりの推進 | ・小中が同じ願いのもと、地域が一体となって子どもたちを育てていけるよう、児童会と生徒会の代表が交流する場を設ける。(特に「いじめ防止」について)<br>・幼保小の接続が円滑に進むよう、授業参観や情報交換会を積極的に進めていく。                                         | B    | ・東長良中学校区生徒会サミットを実施し、各校のいじめ未然防止の取組について交流することができた。<br>・幼稚園や保育園等と情報交換を密にすることで、支援に生かすことができたが、授業参観については、小学校が園児の様子を参観することができず、実態把握が不十分であった。                                                                        | ・通学中の中学生や高校生から気持ちのよい挨拶をされることがあり、とても気持ちがよい。<br>・挨拶やごみ拾いなど、地域でよい行いをしている子どもの情報を積極的に学校に入れていきたい。<br>・自己肯定感を高めるためには、ほめることが大事だと感じた。地域ぐるみでほめて育てていけるようにしたい。                                     | ・生徒会サミットで学んだ他校のよい取組について積極的に取り入れ、小中が同じ願いのもと、地域ぐるみでいじめ未然防止に取り組んでいくことができるようにする。<br>・来年度は幼保小の接続がより円滑に進むよう、幼保の参観を確実に行うとともに、交流する幼稚園や保育園を増やしていく。          |
| 教育環境と学校財務環境の整備                     | ・校舎の老朽化に伴う危険箇所を早期に把握し、修繕を図ったり要望書を提出したりして、安全な環境を整える。<br>・PTAと連携して校内の清掃を行い、生活しやすい環境を整える。<br>・ICT機器やスクールサポートスタッフを有効活用し、時間外勤務の時間を削減する。(前年比10%)                | A    | ・毎月の校内安全点検を二人体制で実施したことで危険箇所について確実に把握でき、修繕につなぐことができた。また、土曜授業日を活用し、PTA親子清掃を2回実施した。保護者の力を借りることで、普段できない部分を清掃することができた。<br>・学校薬剤師の指導のもと、学校環境を整えた結果、学校環境衛生活動優良校に選ばれた。<br>・勤務時間を10%削減することはできなかったが、「早く帰る日」を意識して勤務できた。 | ・トイレや水回りの環境が悪い。子どもたちが気持ちよく生活できるよう、改修の要望を出し続けてほしい。地域からの声を届けることも必要である。<br>・ICT機器やスクールサポートスタッフの活用により、業務がスリム化され全体的に余裕がもてているように感じる。その結果、教師の表情がよく、子どもたちがリラックスしている。                           | ・週2回の掃除でも美しく整った環境を保つことができるように、清掃の仕方を工夫する。また、地域のボランティアを積極的に活用する。<br>・学校備品や消耗品の管理がしやすいように環境を整えることで紛失を防止するとともに、働きやすい空間を作り、働き方改革につなげる。                 |
| 災害、事故、感染症、生徒指導事案等に対する安全性の確保        | ・様々な想定で命を守る訓練を行うことで「自分の命は自分で守る」という意識を育てるとともに、より実態に即した避難計画になるように見直しを図る。<br>・地域の避難場所として、避難場所の整備や防災機能の充実を図る。<br>・生徒指導事案には、チームで対応することを徹底する。                   | A    | ・児童だけでなく職員にも知らないで命を守る訓練を実施したり、運動場へ避難せずに教室で待機したりするなど、災害発生時の状況に応じて判断できる力を付けることができるような訓練を行うことができた。<br>・いじめや首から上の怪我、給食時の異物混入などの事案が発生した時には、すぐに情報を共有し、校長の指示のもと組織で対応することができた。保護者や関係機関への連絡・報告も迅速に行った。                | ・地域としても、学校と連携した防災訓練の必要性を感じている。まず、来年度はできることから始め、保護者にも関心をもってもらえるようにしたい。<br>・SNSの恐ろしさに関するニュースを耳にすることが増えた。タブレットやスマートフォンの使い方については、学校と家庭が協力して指導していく必要性を感じる。                                  | ・来年度は、学校として地域の防災訓練に参加し、地域の防災体制について学んだり、地域の一員としてできることを体験したりしながら、より一層、地域と連携して防災に取り組む。<br>・いじめ未然防止についてはもちろん、保護者対応や不登校傾向の児童についての研修を実施し、教職員の対応力の向上に努める。 |

HPアドレス:

<https://gifu-city.schoolcms.net/nagarahigashi-e/>